



第14号

富山県立南砺福野高等学校
令和4年11月1日発行

「電話」と「スマホ」の話

■ダイヤル式からプッシュ式へ

その昔、小林明子の「恋に落ちて-Fall in love-」という曲が大ヒットしました。この曲の歌詞に「ダイヤル回して手を止めた」とあります。当時は、いわゆる黒電話と呼ばれるダイヤル式電話を使っている家庭が多かったです。サザエさんの家にあるやつです。電話を掛けるときにはこのダイヤルを使い、掛けたい数字の穴に指を入れ、右下のストッパーまで右回りにダイヤルを回します。指を離すと、自動的にダイヤルが元に戻ります。完全に戻ったところで、次の数字の穴に指を入れて回し...、ということを繰り返します。結構時間がかかります。



現在のプッシュ式電話が初めて発売されたのは1969年ですが、一般家庭に普及したのは1970～80年代でしょうか。ボタンを押すとその周波数に対応した音が聞こえるので「ピッポッパツ」とも言われました。

【なぜ110番、119番か】

3ケタの電話番号があります。警察は「110」、消防・救急は「119」、時報は「117」、天気予報は「177」、このくらいは知っていると思います。では、例えば消防・救急が「119」なのはなぜか知っていますか。

消防・救急は1926年に「112」に決められました。「1」が多いのは、ダイヤルを回す距離が一番短く、緊急を要する状況において、できるだけ最短時間で掛けることができるからです。「111」にしなかったのは、子供がいたずらするから、とか、システム上できなかったから、など諸説あるようですが、「112」は「111」と掛けたりするなど、掛け間違いが多かったため、翌年には「119」に変更されました。「9」が選ばれたのは、これも諸説ありますが、「9」は「1」から離れたところにある数字であり、慌てている状況であっても、落ち着いて番号を認識して掛けてもらうことを想定してのことだったようです。最後の「9」を回した後、ダイヤルが完全に戻って相手につながるまで、数秒ですが時間があります。ここでいったん心を落ち着けてほしい、という意図もあったのではないかと思います。

警察の「110」は1948年に決められましたが、これは東京の番号であり、大阪などは「1100」、名古屋は「118」を使っていたようです。全国的に統一されたのは1954年とのことです。「110」が選ばれた理由は、「119」とほぼ同じで、ダイヤルでいちばん回す距離が短い「1」の後に、誤りを防ぐためにあえて回す距離が一番長い「0」を使うことにしたようです。



ちなみに、世界の緊急連絡番号も、「1」「9」「0」が多用されています。

国名	警察	救急	消防
日本	110	119	119
中国	110	120	119
韓国	112	119	119
アメリカ	911	911	911
ドイツ	110 または 112	112	112
イギリス	999 または 112	999 または 112	999 または 112
フランス	17 または 112	重傷 15, 112 軽傷 18, 112	18 または 112
ロシア	02	03	01
オーストラリア	000	000	000
アルゼンチン	101	107	100
ブラジル	190	192	193
エジプト	122	123	180
南アフリカ	10111	10177	10111

(ウィキペディア「緊急通報用電話番号」より)

■ポケベル、PHS、携帯電話・スマートフォンの普及

1980～90年代には、ポケットベル、いわゆる「ポケベル」が急速に普及しました。公衆無線呼び出しサービスのことで、連絡用に会社から持たされていたというビジネスマンもいましたが、主に若者の間で流行っていました。数字しか送ることができなかつたので、「0840（おはよう）」「114106（愛してる）」のような語呂合わせのメッセージを送り合っていたのです。ちなみに「ポケベルが鳴らなくて」というドラマや同名の主題歌がヒットしたのは1993年頃です。

また、自動車電話サービス（1979年にサービス開始）から発展した「ショルダーホン」のサービスが1985年に開始されました。これは、お笑い芸人の平野ノラさんで有名ですね。そして1987年にNTTが携帯電話サービスを開始しました。携帯電話が広く普及したのは1990年代以降でしょうか。1995年には簡易型携帯電話として、PHSのサービスも開始されました。

そして、無線電話機としての携帯電話と超小型パソコンとしての機能を統合した、いわゆる「スマートフォン」が1990年代後半に開発され、日本でも2000年代に普及し始めました。総務省の「令和3年情報通信白書」によると、2020年の世帯におけるスマートフォンの保有割合は86.8%（「パソコン」は70.1%、「固定電話」は68.1%）になりました。

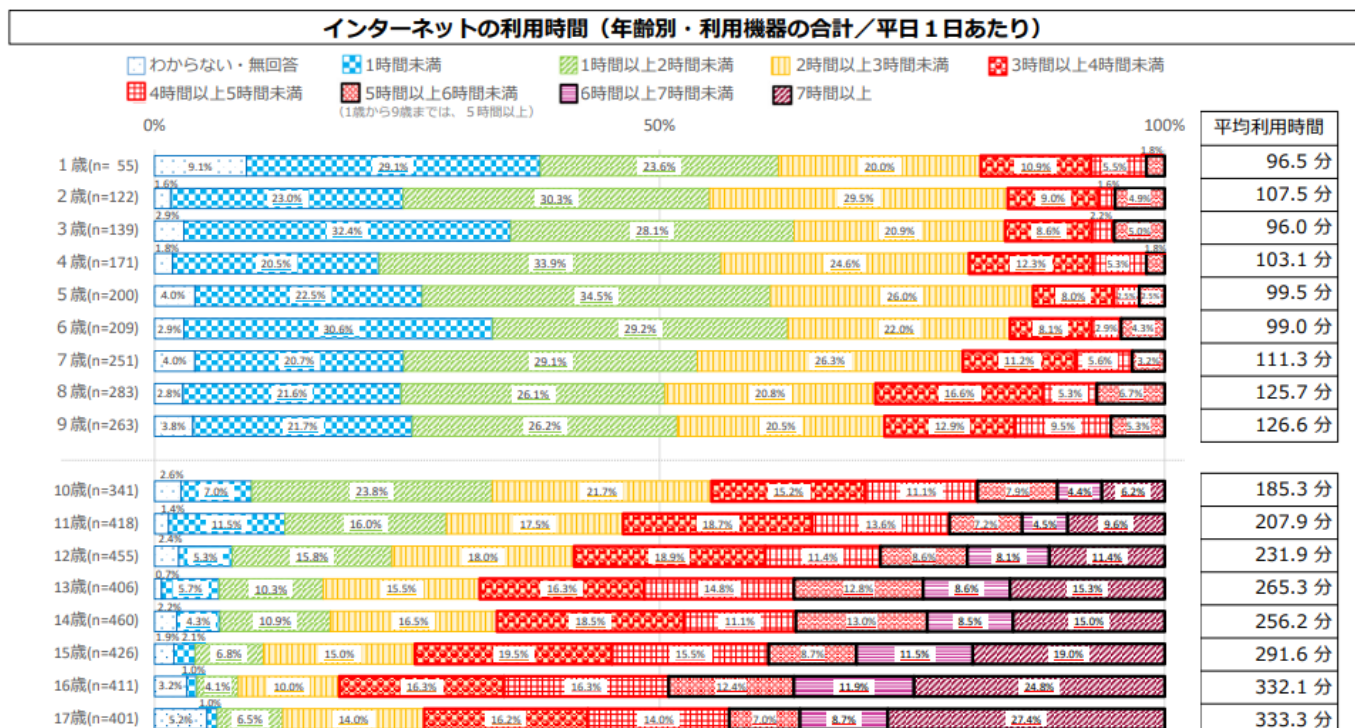


■高校生とスマートフォン

こうして急速に普及したスマートフォンですが、「令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査」（内閣府）によると、高校生の98.7%がスマホを利用しているそうです。アプリはほぼ無限と言っているほど存在しているため、スマホは電話機能だけではなく、カメラ、辞書、スケジュール管理、地図、音楽・動画再生など、様々な機能を有しています。大変便利なものなので、スマホなしの生活は想像できない、という人もいることでしょう。もはや生活必需品と言えるかもしれません。

しかし、いいことばかりとは限りません。スマホを利用することが、インターネット依存症、いじめ、見知らぬ人との出会い、生活の乱れなどの要因になりやすいとも言われています。

ちなみに、インターネットの平均利用時間を見ると、年齢とともに増加傾向にあり、17歳では1日に333.3分、実に5時間以上となっています。



（出典：「令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）」（内閣府、令和4年2月）

■スマホとの付き合い方

ある新聞記事によると、以前クイズ番組「東大王」などに出演していた東京大学法学部出身の鈴木光さんは、受験勉強に集中するため、高3の秋にスマホを解約したそうです。勉強の仕方なども書かれているので、その記事を載せておきます。なお、鈴木さんの勉強法についてもっと知りたい人は、著書「夢を叶えるための勉強法」(KADOKAWA)が参考になります。

○朝日新聞デジタル (2021年1月10日)

[「受験する君へー第4回 スマホにさよなら、受験に集中 「東大王」鈴木光さん」](#)

勉強をする上で、どこで詰まっているかを自分で認識するのが大事だと思います。問題集を解くときには、できなかった時に正の字をつけて、苦手な部分、伸びやすい部分に時間を費やしていくということに気がつけていました。どの部分に自分がたけていて、どの部分を落としているのかを意識して勉強すると効率が良くなるのではないのでしょうか。

受験勉強や司法試験の勉強をする中で、量と質で勉強を捉えるように意識をしていました。私はタイマーで1時間、2時間と設定し、時間を区切って勉強していました。休憩には、お茶を飲んだり、お風呂に入ったり、ぼーっとしたりしていました。受験直前になると、寝る時間を惜しんで勉強したくなると思うのですが、試験は朝早いので、できるだけ7時間程度の睡眠時間は確保するようにしていました。

やる気がどうしても出ない時ってありますよね。そういう時に父が「やる気はやったら出てくるものだよ」とよく声をかけてくれました。初めはつらいのですが、1分、2分、10分でもいいから、やり始めてみると、勉強時間が増えてくるのではないのでしょうか。

やる気が出ない時は、勉強がしたくない、というより他のことをしたいという気持ちがすごくあると思うんです。私は極端かもしれないのですが、高3の秋にスマホを解約しました。解約前に「スマホをやめます」と書いた画像をLINEの画面にして、いきなり音信不通になったと思われないようにしました。タブレット端末はリサイクルショップで売りました。

最初はつらかったですが、次第に慣れます。スマホにエネルギーを割かなくていいので、心理的に楽な部分もありました。受験が終わってから、クラスのLINEグループに戻れたので、特に不便なことはありませんでした。

(下線は校長による。)



鈴木さんは、勉強しなければならない状況下であって、他のことをしたいという気持ちを断ち切るためにスマホを解約したわけですが、人に与えられている時間は限られており、その中で当面の目標を達成するためには、切り捨てなければならない時間があるということだと思います。確かに鈴木さんの行動は極端かもしれませんが、勉強に集中できなければ、スマホを遠ざけてみるのも1つの方法だと思います。

皆さんの中には、スマホを勉強に使っている(※)、という人もいるでしょう。勉強の合間のリフレッシュに必要、という人もいるかもしれませんが。また、携帯電話・スマホは、現代におけるコミュニケーションツールの1つとなっており、なければコミュニケーションに支障をきたす、という人もいるかもしれません。こういった使い方について、全てを否定するつもりはありません。むしろ使える機能は最大限利用すべきです。ただし、(本校の生徒にはいないと思いますが、)仮にゲームや動画の閲覧など、「単なる暇つぶし」に毎日4時間も5時間もかけているのであれば、「もっと他にやるべきことがあるのでは」と言いたくなります。また、スマホを使わないと誰かとコミュニケーションを図れない、というのであれば、将来社会に出てからがとて心配になります。今一度、自分のスマホの使い方について、見つめ直してみてください。

※先述の内閣府の調査によると、スマホによりインターネットを利用すると回答した高校生の利用内容の内訳は、動画視聴(93.2%)、音楽視聴(88.9%)、検索(86.0%)、投稿・メッセージ交換(85.9%)、ゲーム(74.2%)が上位。勉強等は52.0%とのこと。

■スマホの使用ルール

富山県高等学校PTA連合会では、「イレブン・セブン運動」を推進しています。これは、「夜11時から朝7時まではスマホや携帯電話を触らずに、学習や睡眠の時間を大切にする」というルールを、家庭で実践してもらおうというものです。家庭でスマホ・携帯電話を使う時間が長くなると、家庭学習の時間が減少するばかりではなく、睡眠にも支障をきたし、健康面や学校での授業にも悪影響が出てしまいます。また、依存症にかかってしまうと、スマホや携帯電話を触っていないと落ち着かず、高校生活そのものに大きな影響を及ぼしかねません。こうしたルールを決めておけば、例えばこの時間帯に友達からLINEのメッセージが来ても返信する必要がなくなり、勉強に集中できるはずですよ。



イレブン・セブン運動を参考に、各家庭でスマホの使い方についてルールを決めておくことをお勧めします。どうしても使ってしまうという人は、保護者に預けるのも1つの方法です。



かつてニュースにもなった「スマホ18の約束」をご存じでしょうか。アメリカのマサチューセッツ州に住むある母親が、13歳の息子グレゴリー君へクリスマスプレゼントとしてiPhoneを与えたのですが、その母親が作った「使用契約書」が全世界で話題になりました。保護者の方とルールを決めてみてはどうでしょうか。

■スマホの学校への持ち込みについて

本校では、スマホ・携帯電話は持ち込み禁止ではないものの、校地内での使用は禁止であり、電源を切り、カバンの中に入れることになっています。ただし、保護者と緊急に連絡を取りたい場合のみ、指定場所での使用を認めています。使用を禁止しているのは、生徒の本分は学習であり、学校では学習に集中してほしいと思うからです。また、スマホは大変高価なものなので、盗難防止の意味においても、できるだけ学校に持ってきてほしくないという思いもあります。

ただ、学校でのスマホの使用については、最近いろいろな動きがあります。例えば、文科省は2009年の通知で「小中学校は持ち込みを原則禁止」としていましたが、中学生の携帯電話の利用率の上昇や、部活動で帰宅が遅くなることなどを考慮し、2020年に一定の条件付きで持ち込みを認めることにしました。(小学校では、原則持ち込み禁止のままです。)

また、県外の一部の高校などにおいては、BYOD (Bring Your Own Device : 個人のスマホなどの端末を持ち込んで、仕事や学習に利用すること) 導入の動きがあります。例えば東京都では、2018年9月より「都立学校スマートスクール構想におけるBYOD研究指定校」10校にWi-Fiアクセスポイントを設置し、個人のスマートフォンを活用した授業研究を行っています。国が目指す一人一台のコンピュータ配備までには時間とお金がかかるため、まずは今あるものを活用し、ICT教育を推進しよう、という趣旨の事業だったと思いますが、その後、国が「GIGAスクール構想」を打ち出し、「一人一台環境」が急速に整備されることとなりました。富山県立高校においてもすでに全ての生徒と先生に1台ずつ、タブレット端末が配備されています。ですから、あえて個人のスマホを持ち込む必要はないということになります。



■統一ホームルームと自律週間

本校では、統一ホームルームでSNSトラブルやスマートフォンの使用について話し合ってもらっていますが、11月22日(火)から12月5日(月)までをスマートフォン使用に関する自律週間としています。自らの生活やスマートフォンの利用について改めて考えてもらいたいです。

最後に一言。包丁は、大変便利な調理器具ですが、使い方を間違えれば怪我をします。それどころか、時に他人を傷つける凶器にもなるのです。スマホという道具の正しい使い方を学び、適切に使ってほしいと思っています。

◇最近の行事より

1年進路懇談会(10/15)



普通科・国際科は普通教室にてリモートで実施、農業環境科、福祉科は各担任が対面でクラス概況等を説明しました。

3年国際科 複業先生による出前講座(10/17)



講師はフィンランドの英語小学校でアシスタントティーチャーをされている宮下彩夏先生でした。

さわやか運動(10/18~21)



4日間、毎朝生徒や先生方、保護者の皆さんが校地内や校門前、福野駅頭に立ち、登校してきた生徒とさわやかに挨拶を交わしました。また美化活動を行った部もありました。4日間とも晴天に恵まれました。お疲れさまでした。



日本農業クラブ全国大会(10/26)



砺波総合運動公園・西部体育センターで開催され、本校農業クラブ員は平板測量競技会の運営を担当しました。

芸術鑑賞(10/28)



南砺市福野文化創造センターヘリオスへ移動し、三宅狂言会の方々による古典芸能「狂言」を鑑賞しました。

南砺福野高校「校長室だより」ご質問・ご意見投稿フォーム

下のURLをクリックするか、右のQRコードをスマホ等で読み取ってください。

<https://forms.gle/VNcvKUZbYPWsj8nj7>

